

広げよう福祉の輪！

三徳だより

第110号 2023年(令和5年)

発行：社会福祉法人三徳会
<https://www.santokukai.com/>



成幸ホーム
秋晴れが心地よい
ある日の一コマ



特別養護老人ホーム 成幸ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
〒142-0053 品川区中延1-8-7 TEL.(代)03-3787-3616 FAX.03-3783-6580 santoku-seikou@ap.wakwak.com

品川区立戸越台特別養護老人ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
〒142-0041 品川区戸越1-15-23 TEL.(代)03-5750-1054 FAX.03-5750-1055 santokukai.togoshi-h@proof.ocn.ne.jp

杜松在宅介護支援センター
〒142-0042 品川区豊町4-24-15 TEL.(代)03-5750-7707 FAX.03-5750-7709

品川区立荏原特別養護老人ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
障害者計画相談支援事業所
〒142-0063 品川区荏原2-9-6 TEL.(代)03-5750-2941 FAX.03-5750-3695

小山台在宅介護支援センター
〒142-0061 品川区小山台1-4-1 TEL.(代)03-5794-8511 FAX.03-5794-8512

品川区立平塚橋特別養護老人ホーム・ショートステイ
〒142-0054 品川区西中延1-2-8 TEL.(代)03-5750-3632 FAX.03-5750-3642 hiratuka-ow01@santokukai.com

品川区立小山在宅サービスセンター「小山の家」
〒142-0062 品川区小山7-14-18 TEL.(代)03-5749-7251 FAX.03-5749-7252
小山在宅介護支援センター TEL.(代)03-5749-7288 FAX.03-5498-0646

これからの高齢者福祉と 三徳会が歩む道



社会福祉法人 三徳会
理事長 小濱 哲二



——このたび三徳会の理事長に就任された、小濱理事長の経歴についてお伺いします

生まれは福島県の須賀川市です。子どもの頃は父親の仕事の関係で県内を転々としたのですが、最終的には郡山市に落ち着きました。

大学進学のために上京し、25歳で東京都の衛生局に入職しまして34年間禄を食みました。衛生局に約10年、福祉局に10年強、その他いくつかのポストを経て、最後は青少年治安対策本部総合対策部長を務め退職しました。退職後は東京都社会福祉協議会の副会長を5年程務め、現在は複数の社会福祉法人等の理事などを務めています。

——三徳会が「成幸ホーム」を開設したのは昭和57年です。法人が創立して41年の月日が流れました

実は30年以上前、東京都福祉局にいたときに、成幸ホームを見学させていただいております。昭和の終わり頃でしたが、当時でも23区のなかで品川区のような中心区の商店街、密集住宅地のなかに特養ホームがあるのは非常に珍しく、都市型特養の嚆矢である成幸ホームをくまなく案内していただいたことを鮮明に記憶しております。

三徳会の内野前理事長は、40年以上も前に様々な困難を克服し、都市型の特養ホームを自力で開設し「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けること」をいち早く具現化し、先駆者として東京の高齢者福祉の向上に大きな貢献をなさいました。今般、その社会福祉法人の理事長を仰せつかることに深い縁を感じております。

——三徳会は創立40周年を越えて次の10年に向い歩み始めました。この年月のなかで介護保険制度が創設されたことは大きなトピックでした

介護保険制度は平成12年に創設されましたので23年以上たちました。介護保険が始まった頃は、

これから高齢者のサービスが充実していき、介護の仕事にも注目が集まり、介護の未来は明るくますます発展していくであろうという希望と勢いがありました。一方で介護保険の導入に伴い様々な行財政制度の見直しが迫られるなかで、私も福祉局の職員として「福祉改革」を担う仕事に携わることができ、区市町村、学識経験者、関係団体等の方々から多くのことを学ぶことができました。

その後、現在に至るまで介護保険制度は様々な改正が行われてきましたが、この間、日本社会は予測を上回るスピードで「少子高齢化」、「人口減少」が進み、必要かつ十分な福祉サービスの提供が困難になりつつあります。サービスの大宗を担う人材の確保と、そのための処遇改善が喫緊の課題であることをぜひご理解いただきたいと思います。

——この先も三徳会らしい法人であり続けるために、どのようなことお考えでしょうか

三徳会の理念である「正義」「友愛」「奉仕」を継承しつつ、社会情勢の変化に対応しながらご利用者、地域住民の方々にニーズに合ったサービスを提供していくことが法人としての役割だと思っています。また、特養ホームは地域に根差していかなければ生きてはいけません。地域住民を始め、ご利用者や家族の皆さんと共に考えよい方向を創り出していくためには、品川区や関係団体など一層、協力と連携を深めていかなければならないと考えています。

職員の皆さんには、三徳会の理念をしっかりと自分のものとして継承していただきたいと思っています。内野前理事長が掲げた理念と「福祉はサイエンス」を基本に老化を科学的に捉えて理解し、関連知識や技術の習得に努め、実践に反映してくださることを期待しています。

祝 敬老の日

成幸ホーム

高田 敏雄 様 (百歳)
大正13年3月19日生まれ



成幸(定員80)
百歳以上 2人
新百歳 2人
卒寿(90歳) 6人
米寿(88歳) 4人

長女の手塚すが子様、三女の粕谷敏子様と姪御様にお話を伺いました。

祖父は軍人でソウルに赴任していたときに父が生まれました。3人の姉と妹、そして父の5人きょうだいで、今は父だけ健在です。父は自ら志願し相模原の陸軍兵学校に入り、戦時中はビルマ(ミャンマー)に派遣され、終戦後は自衛隊に入隊し定年まで勤め上げました。

旅行とドライブが好きな父は、定年を迎えると母とソウルやミャンマー、万里の長城にも行きました。旅行先ではビデオを回し、たくさんの思い出が残っています。

父は私たち姉妹をとともかわいがってくれました。私(三女様)が運転免許を取ったとき、父は助手席に乗って運転を覚えてくれたことがありました。私が運転するのは心配だったのかも知れません。お父さん、これからも元気でいてください。

戸越台ホーム

海野 富士男 様 (101歳)
大正11年3月18日生まれ



戸越台(定員72)
百歳以上 6人
白寿(99歳) 1人
卒寿(90歳) 3人
米寿(88歳) 3人

お祝い会に出席された長男の海野義雄様と、次男の海野清様にお話を伺いました。

父は昔から規則正しい生活で、暴飲暴食はせず、起きる時間や寝る時間が決まっていました。職人気質で機械工として目黒製作所という会社でオートバイを作っていました。父は免許を持っていませんでした。カワサキに吸収合併された後は転職して深海艇の部品などを作っていたこともあると、聞いたことがあります。日曜大工が得意で、温厚で優しく、怒られたことはありませんでした。母親のほうが怖かったです。

今も温厚な海野様。長生きの秘訣を伺うと、「百歳になるとは思わなかった。あまりお酒を飲まず、気遣いが大事だと思っています。皆がよくしてくれてありがたいです」と、お話ししてくれました。海野様、いつまでもお元気でいらしてください。

荏原ホーム

川俣 喜久雄 様 (88歳)
昭和10年 4月15日生まれ
川俣 捷子 様 (85歳)
昭和12年12月10日生まれ



荏原(定員120)
百歳以上 4人
新百歳 4人
白寿(99歳) 2人
卒寿(90歳) 1人
米寿(88歳) 11人

ご夫婦でご入居されています。長女の平野浩子様にお話を伺いました。

父は栃木県烏山に、5人兄弟の次男として生まれ育ちました。実家は大工を営んでいました。中学卒業後、東京に上京。友人の紹介で母と出会い結婚して戸越銀座に家を買いました。45年前のことです。大田区の町工場で働いた後は三菱重工に定年まで勤め上げました。定年後はシルバー人材センターで20年間、公園清掃の仕事をしました。散歩が趣味で健脚な父は、いろいろな所に歩いて行っていました。

孫が生まれてからは二人で運動会や学芸会、発表会を見に足を運んでくれました。孫の具合が悪ければ看病に駆けつけ、普段も戸越銀座でお土産を買っては何度も遊びに来てくれました。そのお陰で孫たちは今でも父と母のことが大好きです。

「二人で仲良く健康に過ごしてもらえたら、それ以上のことはありません」と平野さんより。いつまでも二人でお元気に暮らせるようお手伝いさせていただきますね!

平塚橋ホーム

柿沼 マツ 様 (百歳)
大正13年2月25日生まれ



平塚橋(定員100)
百歳以上 4人
新百歳 3人
白寿(99歳) 3人
卒寿(90歳) 4人
米寿(88歳) 2人

娘様からお母様への、想いが伝わる文章をいただきました。

母はもうすぐ百歳。母は、静かでとても優しい人。事業家の父と結婚後、歯科医を辞めて家庭に入り、幼稚園の経営に携わり、85歳まで幼児教育に半生を捧げました。家庭的で美的センスに優れ、料理の盛り付けも味と共に抜群で、私には真似のできないもののひとつです。何をやっても上手。美しいものが好き、オペラや音楽が好き、美味しいものが好き、野球が好き。身だしなみがよく、85歳で私と同居するまで母の寝巻姿を見たことがありません。私たちが起きたときにはうす化粧まで終えていたことを思い出します。

私は母のことを不思議に思ってきたことがあります。どちらかというと無口なのに、話すと面白くユーモアがある。内向的かと思っていると大胆。控えめなのに大きくて個性的で目立つものが好き。頭がよいのに何度教えても銀行のATMの使いかたを覚えられない等々…。ひそかに「フシギちゃん」と呼んでいました。



新たな時代へ共に歩む

頑張ってます！外国人介護職員の仲間たち



厚生労働省によると2012年に20歳から64歳の2.4人で1人の高齢者を支える「騎馬戦型」となり、2050年には1.2人で1人を支える「肩車型」になると予測されています。高齢者施設の人材確保は、否応なく新たな発想の転換が求められる時代になりました。

三徳会では2022年から「多様な人材の確保」の一つとして特定技能外国人の採用を進めています。彼女たちは慣れない日本語や生活習慣のなかでも、利用者を敬い明るく熱心に仕事に取り組んでおり、私たちもその姿勢に多くのことを学んでいます。皆さんは仕事の傍ら「介護福祉士資格」の取得を目標に頑張っており、見事合格した職員もいます。私たちは言語のサポート、介護技術の指導を行いながら、仲間同士互いに協働し高齢者を支えています。こうした取り組みは区内法人の先陣を切る形となり、今年2月には「品川区地域連携における人材確保セミナー」において、外国人採用、教育等のノウハウを披露する場をいただきました。

三徳会は3つの年号をまたがる区内でも一番歴史のある高齢者施設です。これからも新しい風を取り入れ、新たなチャレンジをしていきます。そして創立者が築いてきた「いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように」という想いを大切にしながら地域福祉の向上を目指していきます。



きれいに撮ってくださいね ホームページのリニューアル

現在、ホームページ全面改修に向けて進行中です。「三徳会の事業をわかりやすく利用者へ届ける」、「人材確保のツールの一つとして」



というコンセプトを継続しながら、ここ数年コロナ禍で面会中止となり、ご利用者の様子が知りたいというご家族の想いに応えられるよう、新たにインスタグラムの導入も予定しています。

猛暑日の7月のある日、2日間にわたり撮影スタッフが施設を回りました。施設の日常である介護風景を撮影しましたが、カメラを向けられると緊張するものですね。その気持ちわかります。その一方で、ご利用者はカメラマンに向かって「こんな感じでいいかしら？」といつもと変わらない笑顔でにっこり。さすが人生の先輩です！

今、手元にある数多くの写真を眺めながら、リニューアルが待ち遠しいです。

頼りにしています、ボランティアさん いつもありがとうございます

戸越台ホーム
山田 和子様



戸越台ホームでは洗濯たたみボランティアとして、5名の方がコロナ禍の時でも休まずに活動してくれています。その中のお一人、山田和子様をご紹介します。

洗濯ボランティアとして7年以上活動されており、1日2時間程度、小さなおしぼりタオルやバスタオルなどをたたんでくれています。山田様は「たたんでいる時は無になれる時間なので苦にはなりません。たくさん洗濯物があるので、職員さんが可愛そうなので休めませんよ」と、笑顔で話してくださいました。

皆さま、これからもよろしくお願ひします。

◆ボランティア活動は地域の皆さまの自発性により支えられています。三徳会はボランティア活動について、コロナウイルスが5類となった以降、徐々に受け入れを行っておりますので、お気軽にお問合せください。

20年

倉石 亜季
小山在宅介護
支援センター



この仕事は天職

私は三徳会に入社して20年たちますが、そのうちの14年はケアマネジャーの仕事をしています。今でも思い出すのが、ケアマネジャーになりたての頃、上司より「あなたのケアはスーツケースのように角ばっている」と言われたことです。今思い返すと、緊張でゆとりがなかったのかなと思います。

それからは柔軟な対応を心がけるようにしたところ、ある利用者さんが品川区長宛に「倉石さんにすごく丁寧な対応をしてもらった」とお褒めの手紙を出してくれたらしく、その報告を聞いた上司から「ケアマネジャーらしくなってきたな」と褒められたのがとても嬉しかったことを覚えています。そのことが私の自信につながり、今ではケアマネジャーという仕事が私の天職だと思っています。

20年

青木 健
戸越台ホーム
生活サービス室 室長



初心に帰る

私は学生時代英文科コースでしたが、在学中、社会福祉に興味を持ち、講習を受けてヘルパー2級の資格を取得しました。就職も福祉系の仕事がしたいとの思いから、求人票で自宅から一番近い施設を探し、三徳会に就職することができました。

当初はヘルパー2級の資格があるからなんとかなるだろうと思っていましたが、勤め始めると周りの職員は知識も技術もある方ばかりで、なかなか業務についていくことができませんでした。毎日あと1か月、あと1か月と思いながらなんとか頑張っていると、少しずつ仕事にも慣れ、だんだん楽しくなってきました。

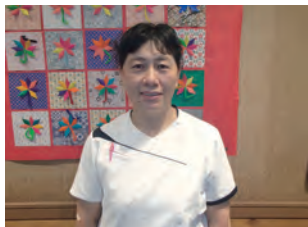
私はこの20年間、様々なセクションで働いてきました。この度十数年ぶりに生活サービス室に戻りました。現場はかなり久しぶりのため、初心に帰って一から勉強しています。

三徳会と共に歩んだ年月

令和4年、三徳会は創立40年を迎えました。今回は永年勤続表彰を迎えた入職20年、10年、5年の職員にインタビューしました。

10年

曾 一墨
荏原ホーム
機能訓練指導員



感謝の10年

私は10年前、大きな福祉施設で働いてみたいとの思いから、三徳会に勤め始めました。当初は言葉の壁があり、利用者さんとうまくコミュニケーションがとれなかったり、職場に馴染めず人間関係などに悩みました。言葉も文化も異なるところで働くのは本当に難しいと感じました。

でもそんな私に利用者さんはいつもとてもやさしく声をかけてくださり、また先輩の機能訓練員を始め、他のセクションの職員の方々にも支えられて気がつけば10年以上の月日が経ちました。10年の間に異動もあり、様々な経験ができたことはとても勉強になり、縁あって三徳会で働くことができ本当に感謝しています。

これからも皆さんと協力して、利用者さんの生活に役立ってもらえるよう職務をはたしていきたいと思っています。

5年

野口 果優有
平塚橋ホーム
ショートステイ
副主任



心をひとつに

私は介護の専門学校を卒業し、平塚橋ホームに勤務して5年以上の月日がたちました。就職した当初は生活サービス室の担当でしたが、現在はショートステイで働いています。私がとてもうれしかったことは、生活サービス室の時に関わっていた認知症のある利用者さんが、今でも私の名前をしっかりと覚えていてくれることです。今振り返ると、「その利用者さんとしっかりと向き合えていたからなのかな」と思います。介護はふれあいを通して、人と人との絆が生まれる仕事だと思います。

これから私が行きたいことは、生活サービス室、ショートステイの職員がそれぞれ力を合わせてサービスの質を上げていくことです。そのためには様々な課題がありますが、まずは職員間で意思疎通を図り、ケアの統一を目指していきたいです。

情報公開について

三徳会では、地域の皆様方および関係する方々に三徳会に対するご理解と協力をいただくため、令和4年度の決算の概要と事業報告を公開いたします。

紙面の関係からお知らせする内容は、概要のみとなっておりますが、詳しくお知りになりたい方は各施設の窓口にお申し出ください。

令和4年度決算の概要 (令和5年3月31日現在)

① 貸借対照表

(単位：円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|-------------|---------------|---------------|---------------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 流 動 資 産 | 1,286,471,091 | 流 動 負 債 | 192,504,641 |
| 固 定 資 産 | 2,163,610,484 | 固 定 負 債 | 199,832,038 |
| | | 負 債 の 部 合 計 | 392,336,679 |
| | | 純 資 産 の 部 | |
| | | 基 本 金 | 473,161,831 |
| | | 国庫補助金等特別積立金 | 94,070,675 |
| | | そ の 他 積 立 金 | 1,085,187,452 |
| | | 次期繰越活動収支差額 | 1,405,324,938 |
| | | 純 資 産 の 部 合 計 | 3,057,744,896 |
| 資 産 の 部 合 計 | 3,450,081,575 | 負 債・純資産の部合計 | 3,450,081,575 |



② 財産目録

資産の部

負債の部

(単位：円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|-----------------|---------------|---------------|---------------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 流 動 資 産 合 計 | 1,286,471,091 | 流 動 負 債 合 計 | 192,504,641 |
| 基 本 財 産 | 737,908,516 | 固 定 負 債 合 計 | 199,832,038 |
| そ の 他 の 固 定 資 産 | 1,425,701,968 | | |
| 資 産 合 計 | 3,450,081,575 | 負 債 合 計 | 392,336,679 |
| | | 差 引 純 資 産 合 計 | 3,057,744,896 |

③ 事業活動計算書 (社会福祉事業区分)

(単位：千円)

| 科 目 | 本 部 | 成 幸 | 戸 越 台 | 荏 原 | 平 塚 橋 | 合 計 |
|-----------------------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| サービ活動収益計 | 9,858 | 475,691 | 630,432 | 944,571 | 575,673 | 2,639,465 |
| サービ活動費用計 | 23,233 | 546,116 | 647,056 | 946,434 | 598,362 | 2,764,603 |
| サービ活動増減差額 | △13,375 | △70,424 | △16,623 | △1,863 | △22,689 | △125,138 |
| サービ活動外収益計 | 77 | 459 | 434 | 903 | 116 | 1,989 |
| サービ活動外費用計 | 1,602 | 2 | 1 | 5 | 1 | 1,612 |
| サービ活動外増減差額 | △1,525 | 456 | 433 | 898 | 115 | 377 |
| 経 常 増 減 差 額 | △14,900 | △69,968 | △16,190 | △965 | △22,574 | △124,761 |
| 特 別 収 益 計 | 17,805 | 6,749 | 310 | 317 | | 25,181 |
| 特 別 費 用 計 | | 1,929 | 348 | 959 | | 3,236 |
| 特 別 増 減 差 額 | 17,805 | 4,820 | △38 | △642 | | 21,945 |
| 当 期 活 動 増 減 差 額 | 2,905 | △65,148 | △16,228 | △1,607 | △22,574 | △102,816 |
| 前 期 繰 越 活 動 増 減 差 額 | 43,352 | 592,385 | 246,295 | 358,427 | 211,044 | 1,506,841 |
| 当 期 未 繰 越 活 動 増 減 差 額 | 46,257 | 527,237 | 230,067 | 356,821 | 188,469 | 1,404,025 |
| そ の 他 の 積 立 金 取 崩 額 | 1,300 | | | | | 1,300 |
| そ の 他 の 積 立 金 積 立 額 | | | | | | |
| 次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額 | 47,557 | 527,237 | 230,067 | 356,821 | 188,469 | 1,405,325 |

- 三徳会では、法人が実施している社会福祉事業の財政状態、事業活動の成果及び収支の区分を報告するため、社会福祉事業区分を設定し、法人本部、成幸、戸越台、荏原、平塚橋の5拠点区分に分類しています。
- 合計に収益事業を含む科目があります。
- 千円未満を四捨五入して関係で縦、横の合計が一致しないものがあります。

成幸ホーム

お神輿競演！

今年の夏は例年になく猛暑が続き、9月になっても暑さが残るなか、一足先にお神輿が秋を運んでくれました。今か今かとお神輿を待っていると、西の方から威勢のよい声が聞こえてきました。もうすぐ到着と身を乗り出すと、今度は東の方からも声が。



なんと、ホームの前でお神輿2基が合流したのです。思わぬサプライズにご利用者の大歓声があがりました。高々と上がったお神輿の雄姿に見とれ、担ぎ手の皆さんからは元気になるパワーをもらいました。

そしてお神輿が通り過ぎた後は「成幸神輿」のお出まします。職員の心意気がこもったお神輿がフロアを練り歩き、ご利用者の皆さまの熱い声援と笑いに包まれました。



戸越台ホーム

100年前の教訓「総合防災訓練」

9月1日は防災の日。荏原消防署と戸越銀座町会のご協力により、戸越台中学校と合同の防災訓練を実施しました。訓練は地震発生後に戸越台ホーム内で火災が発生したという想定で、戸越台中学校の校庭に避難し、避難経路の確認をしました。訓練では戸越台ホームが誇る自衛消防隊3名が、避難誘導を始め消火器による初期消火から屋内散水栓による消火をしました。その後、荏原消防署の方々に指導をいただき、屋上で消火器と散水栓による消火訓練を実施しました。中には初めて消火器を操作する職員もあり、ご指導のもと充実した訓練になりました。



関東大震災からちょうど100年たち、いつ大地震が来るかわかりません。あの未曾有の大地震は昭和、平成、令和と脈々と語り継がれており、地震への備えと実地訓練の大切さを改めて実感しました。

荏原ホーム

賑やかに「荏原まつり」開催

4年ぶりに『荏原まつり』を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、見合わせておりましたが、地域の皆様のご支援と品川区のご協力により、今年は開催に至ることができました。



1階のワークショップでは思い出のうちわ作り、また、ヨーヨー釣りや輪投げのゲームコーナーも大賑わいでした。そして、スペシャルゲストは戸越銀座商店街のマスコットボーイ、戸越銀次郎さんが4年ぶりに来場し、写真と握手大会です。

ラストは荏原神輿が練り歩き、リズムカルな太鼓と掛け声に全館大盛り上がりでした。この秋、荏原ホームは大規模改修工事が始まります。工事をしながらの事業運営に今後もご理解ご協力をお願いします。



平塚橋ホーム

秋の大収穫祭

スポーツの秋は“食欲の秋”とも言われています。まだまだ暑さの続く9月でしたが、平塚橋ホーム屋上にある「平塚橋ガーデン」でピーマンが大収穫となりました。お馴染みの緑のピーマンに加えて、赤ピーマンも見事な朱色に輝いていました。収穫してご利用者に見せると「一番おいしい食べ方は何かしら」、「やっぱり炒めたほうがいいわね」とご意見番から調理についてのアイディアが聞かれました。



さて、このピーマンですが、厨房へ届けられておしゃれなサラダに変身！夕飯のお楽しみの一品となりました。彩り鮮やかなサラダは味もよく、シャキシャキとした食感を楽しめ「おいしいねえ」の声が聞こえました。





こんにちは、ありがとう！

笑顔あふれる「平塚橋ゆうゆうプラザ」

平塚橋ゆうゆうプラザでは、新型コロナウイルスが5類に移行されたことを受け、入浴制限が解除され、マスクは推奨とし、飲食が可能になりました。

そこで、かつての賑やかなゆうゆうプラザに近づけようと、新たなイベントを計画しました。特に若い世代、子どもに対してのプログラムに力を入れ、楽しく遊べるキッズコーナーも再開。乳幼児連れの家族がおやつを食べながら休憩する姿も目にするようになりました。また、先日はキッズコーナーのお馴染みさんである親子連れが真っ先にお絵描きコーナーに向かう姿がありました。デッキに面した大きなガラス窓を彩るクレヨン画を指さしながら、何やら楽しそうに会話が弾んでいます。このクレヨン画はボランティアさんが描いてくださり、子どもたちに大人気でゆうゆうプラザの前を通る人の目を引いています。

七夕には近隣の保育園の園児が作った笹飾りがたなびき、作品を通じて多世代の交流が生まれ、夏休みには子ども向けのかご作り講座を開催しまし

た。他にも新たな企画として、浴衣着付け教室やイラストイベント、ボッチャ大会など、世代を超えて楽しめるイベントも好評でした。

これからも地域の人々の笑顔が輝く場として、様々な活動を計画していきます。ぜひ平塚橋ゆうゆうプラザにお立ち寄りください。



職員リレーエッセイ



成幸在宅介護
支援センター

筒井 一浩

変わったこと、変わらないこと

令和4年4月より成幸在宅介護支援センターに異動となりました。成幸での勤務は平成18年ぶりとなります。中延駅から中延スキップロードを抜け、施設までの道のりは、かなり変わりました。こんなところにこんなお店ができたんだ、と驚きながらも、以前から変わらないお店も見つけ、頑張っているんだとうれしくなりました。

また、成幸ホームの屋上からの眺めも大きく変化していました。いろいろなところで再開発が行われていたことは承知していましたが、こんなにも高層マンションが建設されたのだと改めて驚きました。ちょっと残念だったのは、天気の良い日には富士山が見えたのに、今はマンションの陰に隠れてしまい、まったく見る事ができなくなっていたことです。

こちらに来て一番うれしかったことは、私が入職したところよりデイサービスを利用されていた方が、今も変わらず通い続けていたことでした。しかも私のことを覚えていてくれて、「久しぶりだね」と挨拶してくれて、不覚にも目が潤んでしまいました。

月日とともに、街も人も変わっていきます。新しいものを発見することは好きですが、変わらないものを発見する喜びも持ち続けたいなと思っています。

荏原複合施設 大規模改修工事が始まりました

平成9年に開設した荏原複合施設は、26年が経過しこの度、大規模改修工事を着工しました。工事期間は令和5年8月から令和8年4月までの予定です。皆さまの安全を確保しながら、特養ホーム、ショートステイ、デイサービス、支援センター等の各事業を続けてまいります。

工事車両の出入りや騒音など、ご迷惑をおかけします。ご理解のほど、よろしく願い申し上げます。



お知らせ

三徳会内野京子総施設長は令和5年3月4日に永眠いたしました。

故人は法人創立から40年にわたり法人と共に歩み続け、三徳会が生まれたこの地、品川区でご利用者そして地域のためにご尽力されました。

ここに生前のご厚誼に深謝し謹んでお知らせ申し上げます。